



NCVオペラ 段窓無目

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…組み立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読み下さい。

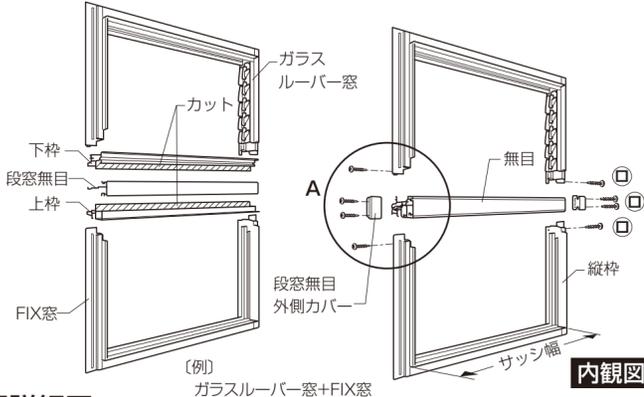
●ねじ一覧表内の①のねじは本体に同梱されています。
●詳細図の112は例A（規格外）で説明してあります。

組立て順序

1. サッシ枠及び上下枠フィンのカット（規格品以外の場合）

2. 段窓無目との連結（規格品以外の場合） 3. 枠の組立て

①上・下枠と段窓無目を組み合わせ、②無目と上・下窓を一体に組み立てねじ止めます。（詳細図1123を参照）

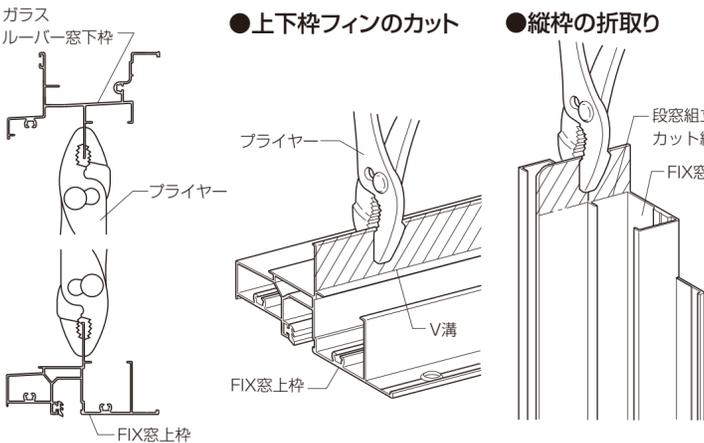


■詳細図

11 縦枠・上下枠フィンのカット

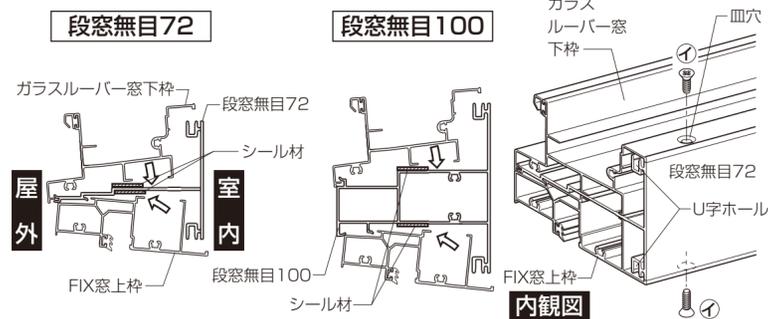
●連結側の上下枠と縦枠のV溝にカッターで1、2度スジを付けてから斜線をブライヤー等で折ります。

※規格品はカットの必要がありません。



2 段窓無目との連結 ※規格品は連結されています。

- ①段窓無目と上、下枠を一体に組み合わせます。
 - ②組み合わせた段窓無目と上・下枠の各切断面が平らになるように調整します。
 - ③上・下枠と段窓無目がしっかりと合っていることを確認し、上下枠の皿穴にU字ホールを合わせてねじ止めてください。
- ※無目に張ってあるシール材は水密上重要な働きをもっていますので、絶対にはがさないでください。

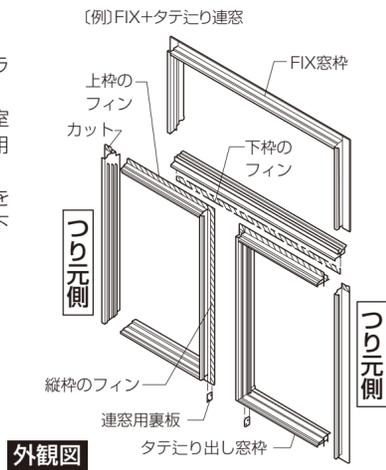


連段窓の場合

1. 各サッシ枠の組立て

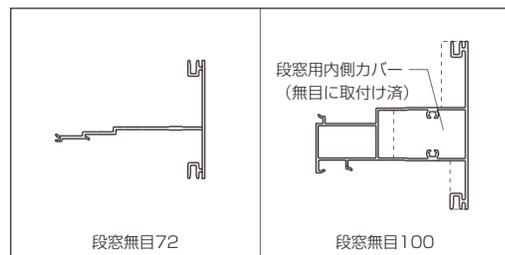
※連窓部分詳細は連窓方立180°説明書を参照してください。

- ①サッシ枠フィンの斜線部をブライヤー等で折ります。
- ②タテり出し窓の戸先側縦枠の室内側組立てねじをゆるめて連窓用裏板を取り付けてください。
- ③タテり出し窓はつり元側縦枠を除いて組み立てます。FIX窓は下枠を除いて組み立てます。



3 枠の組立て

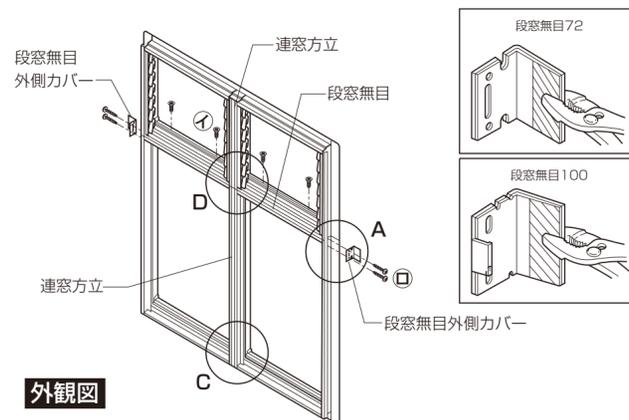
- ①上・下のサッシ枠をそれぞれ組み立て、段窓無目と組み合わせます。
 - ②段窓無目と縦枠の継ぎ目部にシリコン系シーリング材（別途）を塗布します。
 - ③屋外側の枠組立てねじで段窓無目外側カバーを取り付けます。
- ※段窓無目外側カバーの取り付け後に、継ぎ目部にシリコン系シーリング材（別途）を塗布します。



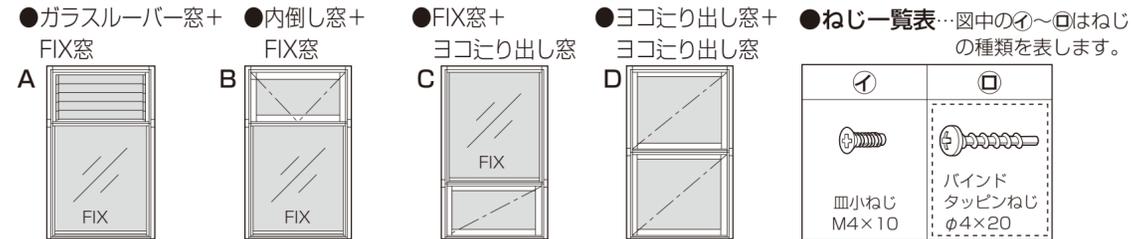
■連段窓の場合

※連窓方立接触部部に切り欠いてシリコン系シーリング材（別途）を塗布してください。

〔例〕 ガラスルーバー連窓+FIX連窓 ※段窓無目外側カバーの斜線部を連結する側は、ブライヤー等で折り取って下さい。

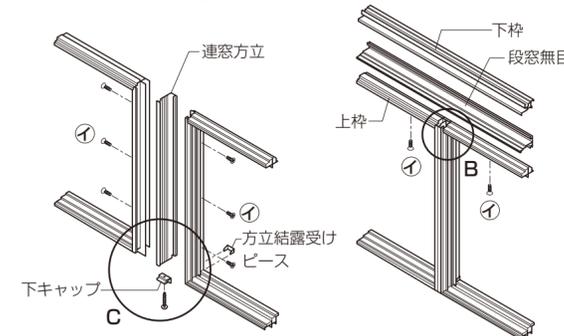


組合せタイプ例



2. 連窓部の組立て

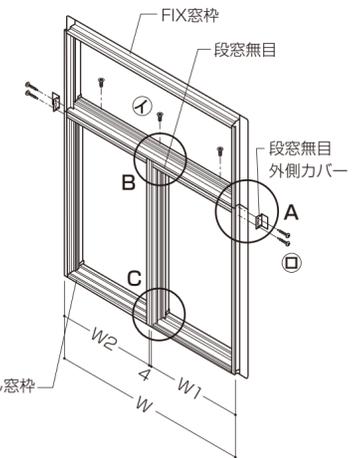
- ①連窓方立の組立てに従って左、右の枠を連結します。
- ②連結部の下にキャップを取り付けます。 ※この場合、上部キャップは使用しません。
- ③連結側縦枠の縦枠結露受けピースを外し、方立結露受けピースにつけかえてください。



3. 段窓部の組立て

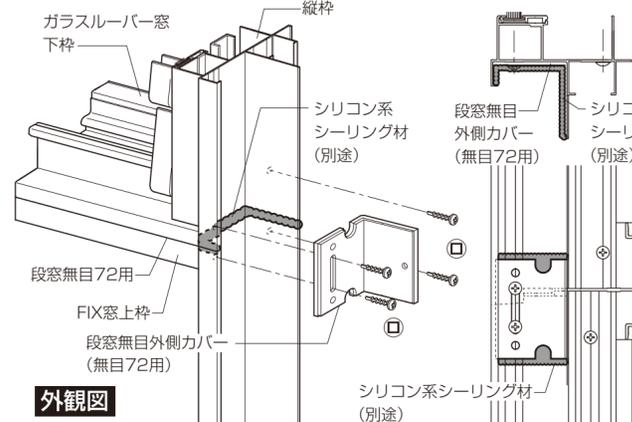
※段窓無目を固定する前に連窓方立が接触する箇所を切り欠いてください。次に部をシリコン系シーリング材（別途）で処理してください。（詳細は連段窓の場合参照）

- ①タテり出し窓の上枠に段窓無目を屋外側から差し込みます。
- ②FIX窓の下枠を屋外側から段窓無目に差し込みます。
- ③段窓無目をサッシ枠の上下からねじ穴を利用して固定します。（詳細図連段窓の場合参照）
- ④FIX窓枠（左右縦枠と上枠）を段窓無目外側カバーでタテり出し窓枠と固定します。



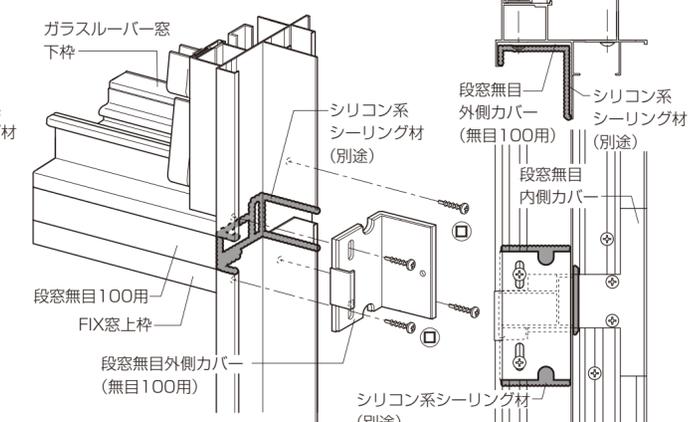
A部詳細図〔段窓無目72の使用例〕

●シリコン系シーリング材塗布位置を示します。



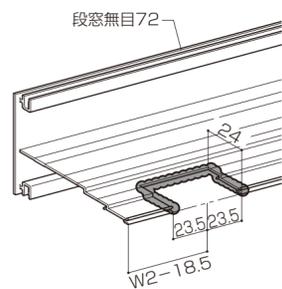
〔段窓無目100の使用例〕

●シリコン系シーリング材塗布位置を示します。



●段窓無目72の場合

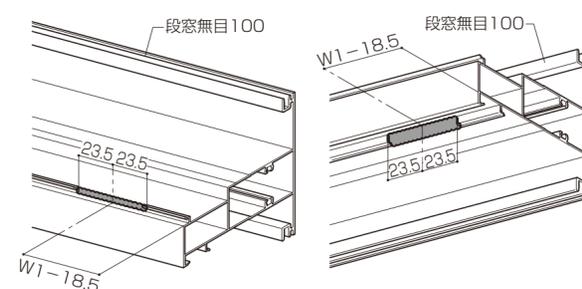
（両面にシリコン系シーリング材を塗布してください。）



※段窓無目72の場合、下部のみ連窓方立がある場合でも、図のように切り欠いてください。

●段窓無目100の場合

〔上部に連窓方立がある場合〕 〔下部に連窓方立がある場合〕



B部詳細図

